



ありんこ親子保育園

令和6年度 ～目指していくもの～



令和5年度の目標

- 子どもの主体性
- 保育者の主体性
- 健康な心と身体づくり
- 本物の体験
- 異年齢保育



チームワークが必要不可欠



人間関係・安全、安心・報連相の徹底・職員が全力で楽しむ

令和5年度の反省

○ 子どもの主体性

- ⇒ 子どもの興味に耳を傾ける事はできたが、遊びの継続性が乏しい。
自分で考える力や行動力が足りていない。

○ 保育者の主体性

- ⇒ 耳を傾けるだけではなく子どもを理解していく。
保育者自身の保育の引き出しを増やす。

○ 健康な心と身体づくり

- ⇒ 戸外活動などを通して五感を刺激した活動が充実した。

○ 本物の体験

- ⇒ 自然認証を受けたので、より力を入れていく。
季節や気候の変動をとらえ、活動をより充実させる。

○ 異年齢保育

- ⇒ 年上の姿を見て、空き箱制作の魅力を伝えていく。

チームワークが必要



⇒一年間職員が全力で楽しめた一年だった。
職員間の報連相を徹底してきたが、
他部署の連絡が欠けていた部分はあった。
安全面をもっと徹底していく。

令和6年度の目標

☆個々の関わり☆

○ 年々、個々に合った援助を必要とする子どもが増えてきた。
一人ひとりの特徴を職員全体で把握し、より一層子どもと丁寧に関わっていくようにする

○ 他施設との連携の強化、情報共有

～具体案～

- ・ クラス関係なく何の活動をするか自分で決めてみる
- ・ 興味のある生き物をクラス単位ではなく育ててみる
- ・ 療育施設の職員との交流



☆連続性のある活動・自然保育の充実☆

- 続きができる環境を作る
- お出かけだけではなく、身近な自然から連続性を見出す

～具体例～

- 作ったものを残し、他児にも巻き込んで遊びを広げる
- ありんこ農園で竹の家を作り、まだ作りたくないようであれば次の日も農園に行って活動してみる



☆空き箱制作の充実☆

- 魅力のある制作コーナーの環境設定
- 秘密基地のようなワクワクするような場所を設定
- 見立てて作れるように、
保育者の声掛けの重要性・引き出しの充実
- 他学年が惹かれるような制作の魅力

～具体案～

- 家では出来ない事を挑戦できる環境作り
- 部屋を大きく区切ってみる
- ヒントを伝え、制作の幅を広げる
- 上の学年がやっているのを見て、
セロハンテープで貼ったりする所から始める



✿ まとめ ✿



◎ 保育の中身を重視して考えていく



◎ 子ども一人ひとりが安心した環境の下、
個々を発揮できる環境を提供し、自然の魅
力をたっぷり感じていく

ご清聴いただき、
ありがとうございました！
職員一同、連携して楽しい一年
を作っていきます♪